

2024 年 7 月社長会見



2024 年 7 月 24 日

1. 営業・輸送概況

2. 山陽新幹線の更なる安全性・快適性の向上
～N700S の追加投入および 500 系営業運転終了～

3. 大阪ステーションシティ拡大
～ますます賑わう大阪駅西側エリア～

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

まず営業・輸送概況です。

収入ですが、6月は前年比で109.6%、7月は21日までの3週間分で108%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同日比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
6月	109.6%	107.4%	110.9%	107.7%
7月（7/1～21）	108%	105.8%	112.4%	97.3%

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況ですが、山陽新幹線は、6月が前年比で103%、7月が21日までの104%、近畿圏は、6月が101%、7月が21日までの103%です。

6月下旬から7月中旬にかけて、活発な梅雨前線の影響により、各エリアにて運転の取り止めが発生いたしましたが、堅調にご利用いただいております。7月は21日までの、前年を上回る水準で推移しております。

関西では、梅雨も明けまして、いよいよ夏本番となり、帰省など多くのお客様がご出かけになる時期になってまいります。

一方で、天候の影響を受けやすい季節でもありますので、改めて、自然災害に対するハード面・ソフト面の対策を着実に継続し、鉄道の安全安定輸送に努め、皆様のご利用の拡大を図ってまいります。

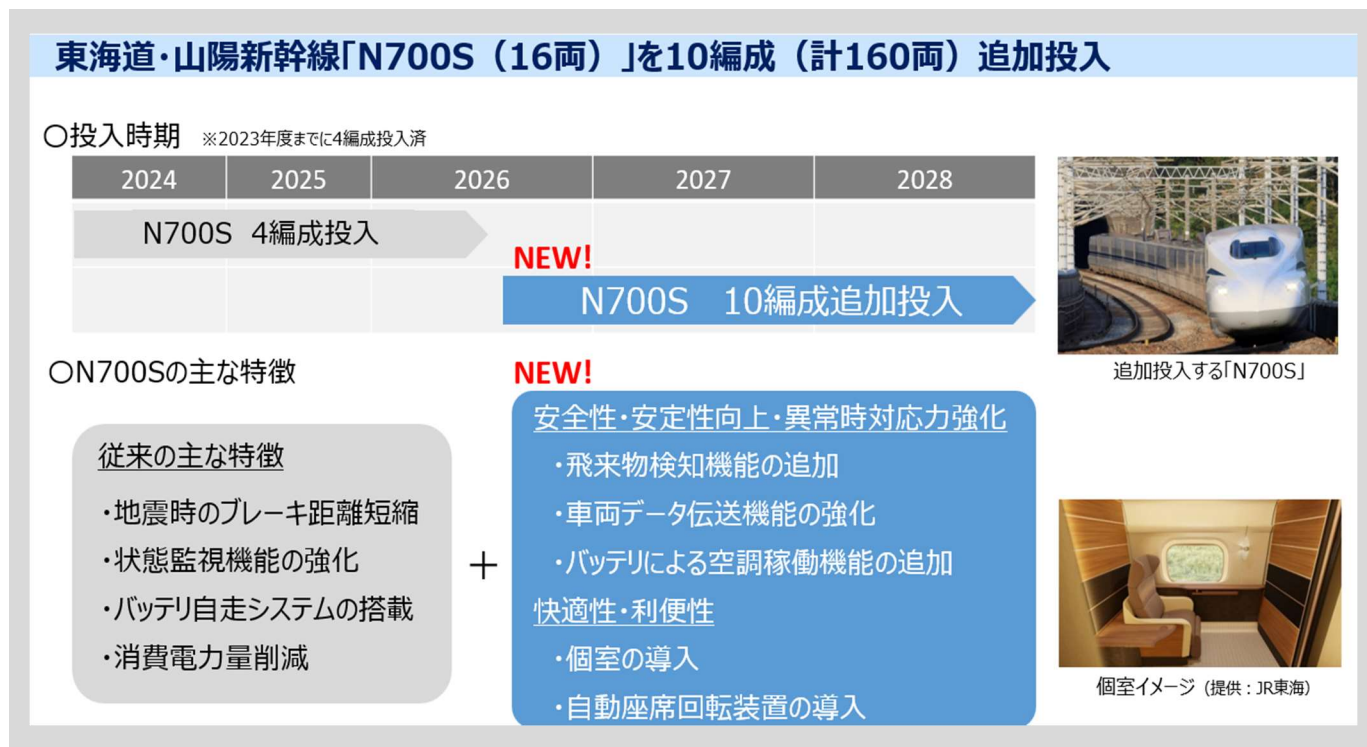
新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同日比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
6月	103%	125%	102%	108%	101%
7月（7/1～21）	104%	128%	101%	105%	103%

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同日比を併記

2. 山陽新幹線の更なる安全性・快適性の向上 ～N700Sの追加投入および500系営業運転終了～

次に、「山陽新幹線の更なる安全性・快適性の向上 ～N700Sの追加投入および500系の営業運転終了～」についてです。



当社は、「中期経営計画2025」において、鉄道事業の更なる活性化に向け、「新幹線を基軸とした鉄道ネットワークの充実と交流人口・関係人口の創出」に挑戦しています。また、「中期経営計画2025アップデート」にて車両更新の早期化による安全性・快適性の向上を推進するということも掲げているところで

す。

山陽新幹線では、これまで、様々なサービスの拡充を図ってまいりましたが、新たに、2つの取り組みについてお知らせいたします。

まずは、新製車両「N700S」10編成の追加投入についてです。

今回、N700系の置き換えとして追加投入する「N700S」は、これまでの「地震時のブレーキ距離の短縮」、「状態監視機能の強化」、「バッテリー自走システムの搭載」に加え、新たに「飛来物検知機能の追加」、「車両データ伝送機能の強化」や「バッテリーによる空調稼働機能の追加」など、車両の安全性や安定性を向上するとともに、異常時対応能力の強化を図るものです。また、車内でお客様が快適にお過ごしいただけるような「個室」や、車両清掃の省力化のため客室の座席を自動で回転させる装置を、一部の号車に搭載します。

2026年度から2028年度にかけて投入してまいります。主に、東海道・山陽新幹線直通の「のぞみ」号として運用する予定です。

次に、500系の営業運転終了についてです。

山陽新幹線の「500系」を2027年を目途に営業運転を終了

○主な経歴

- 1997年3月22日 ダイヤ改正より営業運転開始
- 2008年12月1日 8両化「こだま」営業運転開始
- 2010年2月28日 「のぞみ」営業運転終了

○主なイベント

- 2013年4月10日 「カンセンジャーラッピング新幹線」運行開始
- 2014年7月19日 「プラレールカー」運行開始
- 2015年11月7日 「500 TYPE EVA」運行開始
- 2018年6月30日 「ハローキティ新幹線」運行開始

○主な特徴

- 当時の営業速度世界最高速タイ300km/hによる営業運転 新大阪～博多 最速2時間17分
- ロングノーズの先頭形状、翼型パンタグラフ（16両編成時）

○その他

- 営業運転終了までに、各種企画を実施します



営業運転を終了する「500系」

「N700S」の10編成追加投入に伴い、「N700系」10編成に対し、8両化する改造工事を実施します。これにより、現在営業運転している500系は全て置き換えとなり、2027年を目途に営業運転を終了する予定です。

500系は、当社が設計段階から単独で開発した車両であり、1997年3月のダイヤ改正から東京～博多間の「のぞみ」として営業運転を開始しました。営業速度としては当時の世界最高速度のタイ記録である300km/hで運転し、新大阪～博多間を最速2時間17分で結んでおりました。

高速運転を支え、かつ騒音を抑えるためのロングノーズの先頭形状や円筒形の車体、また、フクロウの羽根に着想を得た空気抵抗を減らす翼型（よくがた）パンタグラフの搭載など、当時の最新技術を組み入れて設計されました。スピードとスマートさを兼ね備えたその近未来的な形状から、当社の車両の中でも特に人気のあった車両です。

その後、N700系の増備に伴い、2008年12月から山陽新幹線の「こだま」として営業運転を開始したのち、2010年2月に「のぞみ」としての運用を終えております。

山陽新幹線「こだま」として運用を開始した後も、2015年には「500 TYPE EVA」、2018年には「ハローキティ新幹線」のラッピングを行うなど、様々なイベントで話題を集め、山陽新幹線を大いに盛り上げてくれた存在です。

1997年のデビューから約30年で営業運転の役目を終えることとなりますが、本当に多くのお客様に愛され、ご利用いただいた車両です。心よりご利用いただきましたお客様に感謝申し上げたいと思います。

これから、2027年の営業運転終了までに、各種企画を実施してまいります。ぜひ、最後まで、500系の勇姿をご覧くださいと幸いです。

今後も、お客様に安心して快適に山陽新幹線をご利用いただけるよう、引き続き、安全性・快適性の向上に努めて参りたいと思います。

3. 大阪ステーションシティ拡大 ～ますます賑わう大阪駅西側エリア～

次に、「大阪ステーションシティ拡大 ますます賑わう大阪駅西側エリア」についてです。

いよいよ、7月31日、大阪駅西側におきまして、イノゲート大阪、並びにJPタワー大阪の商業施設「KITTE 大阪」、「大阪ステーションホテル」が開業いたします。

大阪ステーションシティ拡大 7月31日、いよいよ同時にグランドオープン

イノゲート大阪／バルチカ03



JPタワー大阪 KITTE 大阪・大阪ステーションホテル



イノゲート大阪は、交流とひらめきがかたちになる場所、新たな価値を生み出し続ける出発点を目指しており、フレキシブルオフィスや貸会議室、ラウンジ、など、多様な働き方に対応したオフィスサポート機能を有しております。2階～5階では、個性あふれる50店舗が集結した飲食ゾーン「バルチカ03」が開業します。

大阪ステーションシティ拡大 7月31日、いよいよ同時にグランドオープン

イノゲート大阪／バルチカ03



バルチカ03

2～5階の飲食ゾーン「バルチカ03」

ランチも呑みも楽しめる、個性あふれる50店舗の飲食ゾーンが開業

■5階フロアイメージ



- ・延床面積： 約 60,440㎡
- ・事務所貸室面積： 約 23,035㎡ (約6,970坪)
- ・商業施設貸室面積： 約 6,500㎡ (約1,970坪)
- ・階数： 地上23階、地下1階
- ・用途： オフィス、飲食店舗
- ・高さ： 約120m



日本郵便様などとの共同事業であるJPタワー大阪は、「つなぐ」というコンセプトのもと、多彩なライフスタイルを提供いたします。

大阪ステーションシティ拡大 7月31日、いよいよ同時にグランドオープン

JPタワー大阪/KITTE 大阪・大阪ステーションビル



THE OSAKA STATION
HOTEL
AUTOGRAPH COLLECTION®
HOTELS

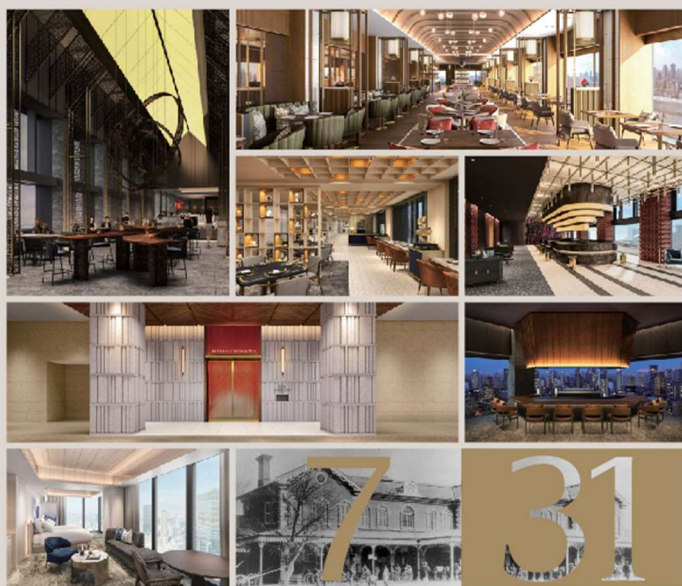


- ・延床面積： 約227,000㎡
- ・事務所貸室面積： 約 68,000㎡ (約20,570坪)
- ・商業施設貸室面積： 約 16,000㎡ (約 4,840坪)
- ・階数： 地上39階、地下3階、塔屋2階
- ・用途： オフィス、商業施設、ホテル、劇場
- ・高さ： 約188m



当社グループとして、1874年に開業した初代大阪駅の場所に誕生する「THE OSAKA STATION HOTEL Autograph Collection」をJPタワー大阪で運営させていただきます。この土地の歴史や文化、その価値を未来へ継承すべく、「THE OSAKA TIME」をブランドコンセプトとし、鉄道の歴史・魅力へのオマージュに満ちた、他にはない類のないホテルとなっております。

大阪ステーションシティ拡大 7月31日、いよいよ同時にグランドオープン



※画像は全てイメージです。実物の内容と異なる場合があります。

THE OSAKA STATION
HOTEL

AUTOGRAPH COLLECTION®
HOTELS

THE OSAKA TIME はじまる。

2024.7.31 開業

この2つのビルの開業に合わせて、大阪ステーションシティ ノースゲートビルディングからイノゲート大阪へのデッキが供用開始となるほか、両ビルをつなぐ地上の歩行者通路が開通することにより、西側エリアにおける回遊性が高まります。

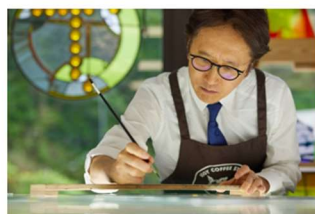
また、大阪駅には現在10箇所の広場がありますが、新たに5箇所の広場が誕生します。「ジョジョの奇妙な冒険」シリーズで有名な荒木飛呂彦先生に制作いただきましたパブリックアートも設置するなど、西側エリアに更なる賑わいが創出されます。

大阪ステーションシティ拡大 歩行者通路の開通・賑わいある広場

OSAKA STATION CITYが
西側へ拡大



WARP
WEST ART PROJECT



大阪ステーションシティは、2011年5月に開業いたしました。ノースゲート、サウスゲートビルディングの2つのビルで構成されており、その名の通り、梅田エリア、そして関西の「玄関口」としての役割を担ってまいりました。

大阪ステーションシティ拡大 大阪梅田の中心に位置づく大阪ステーションシティ



エリア中心に位置づく存在として、「玄関口」の役割を果たしていく

大阪駅うめきたエリア開業による関西国際空港へのアクセス改善、大阪ステーションシティの西側エリアへの拡大、そして、「グラングリーン大阪」「うめきたグリーンプレイス」の開業により、大阪梅田エリアはさらに広がり、多様な人々が集まり価値創造が行われる、「国際競争拠点」となっておりま

す。そのなかで、大阪ステーションシティはまさに大阪梅田エリアの中心に位置づく存在となっておりま

す。これまで以上に、梅田エリア、そして関西の「玄関口」としての役割を果たしてまいります。

今回の開業により、大阪駅の原点ともいえるエリアに新たな賑わいが生まれます。7月31日の開業にご期待いただき、ぜひ多くのお客様にご利用いただければと考えております。